



DIRECT • DRIVE • AUTOMATE

Your Business Processes

Electronic Forms Processing (eForms):

Collaboration and workflow solutions for digital content and document management

電子フォーム・プロセス (eフォーム) :

デジタルコンテンツと文書管理のためのコラボレーションとワークフローソリューション

A White Paper

ホワイトペーパー

e フォーム・プロセスとは？

組織や部門では、ビジネスの効率性は情報により左右され、非効率なビジネス・プロセスとデータのマニュアル収集は生産性の低下と遅延コストを招きます。また、常に変化するビジネス情報に対応するには、ビジネスユーザは紙文書の記録管理に対し迅速に対応する必要があります。そこで、企業内の情報プロセスを最適化するためには、既存のプロセスを効率的に自動化し、環境の変化にも迅速に対応するツールが必要とされています。電子フォーム（e フォーム）・プロセスはこれに重点を置いたソリューションを提供します。

e フォーム・プロセスは、オンラインフォームを利用することによって容易に情報を収集し、定義したビジネス・プロシージャに従い依頼を処理できます。これにより、データ入力作業からペーパーフォームの日付を入力する作業や、手書き文字を解読する作業を解放します。

e フォーム・ソリューションは、データ収集の簡易化と促進および情報プロセスの自動化を目的とし、電子フォームの全てのライフサイクルと関連したプロセスを管理します。効率的なソリューションとして、ユーザが精通したフォームを利用した情報の電子的な入力および送信を行います。これにより、管理とトラッキングを機能の向上または高品質な情報の送信や処理の促進を可能にします。

BP Director における e フォームのコンポーネントは、フォームに基づく情報の収集、処理能力の向上と集中化に合わせて設計され、総合ドキュメント管理、ワークフロー・オートメーション、コラボレーション、ドキュメントのイメージング、ナレッジ・マネージメントにより構成されています。



自動フォーム・プロセス vs. e フォーム

フォーム・プロセスは、基本的なデータ取得方法の違いにより主に 2 つのタイプに分けられます。“自動フォーム・プロセス”として言及される最初の手法は、ユーザがペーパーフォームに記入し、その後スキャンを行い電子化します。2 番目の手法は、e フォーム・プロセスと呼ばれ、ユーザが電子フォーム (html や PDF など) に“オンライン”で入力します。BP Director では双方のフォーム・プロセスをサポートしますが、このホワイトペーパーでは特に 2 番目の手法：e フォーム・プロセスの特徴や利点、および優位点をご紹介します。

e フォームを利用したプロセスタイプの利点

代表的なグローバル企業では、平均 400 種の複雑なビジネスフォームが自動化により影響を受けると考えられています¹。e フォームで最も重要なことは、新しいフォームやそれに関連したプロセスを作成せずに既存のフォームとプロセスを利用できることであり、これによりデータを利用するどのグループ、企業、またはプロセスでも e フォーム・ソリューションによりベネフィットを得ることが可能です。BP Director は、ユーザが精通した既存フォームを取得し、電子的に照会や入力をユーザがオンラインで行うことができるアプリケーションソフトウェアです。

電子フォームプロセスソリューションによってベネフィットを得ることのできるプロセス：

IT 全般統制 (IT 変更管理)

発注・購買業務

雇用と人事 (採用、給与、休暇、休職依頼書)

経費精算

Web ベースでのフォーム申請（サポート、ヘルプデスクなど）

その他にもビジネスに適したプロセスの自動化が可能です。

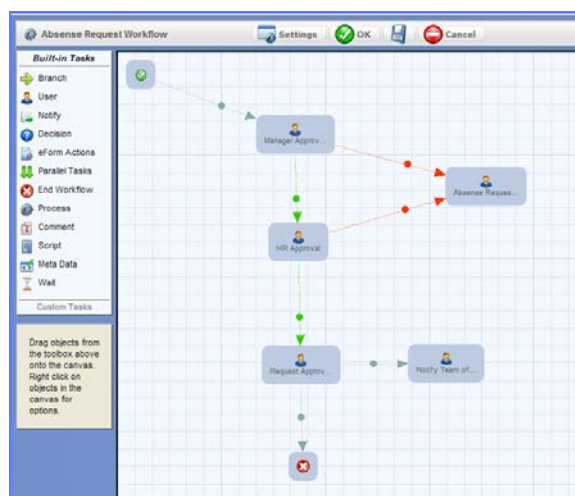
ワークフロー・オートメーションの重要性

ワークフロー・オートメーションは e フォーム・システムの中でも重要な要素の 1 つです。ワークフローのない電子フォーム・プロセスでは単なるデータ収集にすぎません。フォームが入力されることで情報の処理が行われ、BP Director に組み込まれているワークフロー・エンジンでフォーム情報の処理を行います。完全にフォーム化された処理は、複数の関係者と外部システムの間で実行されます。フォームは通常レビューや承認プロセスで送信され、承認後になんらかの処理が実行されます。

ワークフロー・オートメーションでは、定義したビジネス・プロシージャに従って e フォームとその他のリクエストを送信することが可能です。

BP Director は、この情報を、一連のワークフロー処理を構成する“ワークフローパッケージ”の一部として送信することで、さまざまなフォームやドキュメント、その他デジタルコンテンツを処理情報に関連付けることができます。また、データ収集やレビュー、承認を行うため、ユーザにパッケージを送信することも可能です。

BP Director では、複雑なビジネス・プロセスのより完璧な自動化のために、さまざまな種類のコンテンツ（e フォームやドキュメントなど）を組み合わせることで効率性を向上します。



e フォームの利点

このホワイトペーパーでは、e フォーム・ソリューションの多くの優位点を紹介してきました。e フォーム・ソリューションではユーザとシステムを統一し、全体のビジネス・プロセスを改善することで、高品質な情報収集の促進と正確な時間に情報を正しい場所に受渡しを可能にします。さらに、ビジネスフォームを利用してビジネスライフサイクル全体を管理する場合、平均で\$75 のコストが発生するとされています。しかし、e フォーム・ソリューションを利用することで、このコストを削減することができます²。

BP Director の e フォーム・ソリューションでは、更に以下のような利点があります。

- ▶ コストが高い紙文書の取り扱いとマニュアルでの承認処理の削減
紙文書では印刷や保存、配布や郵送にコストが掛かります。フォーム・プロセス・オートメーションではフォームとフォームで必要とするビジネス・プロセスの関連が保障されています。
- ▶ トラッキング、監査、プロセスに対する意識向上
入力済みフォームやプロセスを含む、現行または以前のアクティビティに即時にアクセスすることで、権限ユーザが日々の意思決定を支援するために必要な情報にアクセスが即時可能となります。また、フォームを可視化することで、ライフサイクル全体のコストを削減、品質を向上、重要なビジネス情報を迅速に管理可能にします。
- ▶ フォーム型情報送信の迅速化

ワークフロー・エンジンは、入力済みフォームをレビューや承認の際に適切なユーザへ自動的に送信し、外部システムとの情報交換も行えます。また、フォームのレビューまたは承認を行うべきユーザに自動メール通知や各ユーザのタスクリストなどを提供します。

➤ エラーの削減と正確性の向上

外部ソースによるフォームフィールドの事前定義、および各フォームを独立させる“フォームセグメントアイソレーション”により、ユーザは要求されたデータのみ入力することが可能です。入力エリアを少なくすることでエラーを減らし、フィールド検証により正確性を保証します。

➤ 良質な情報の迅速な収集

e フォームでは、ペーパーベースで管理を行っているユーザであっても、フォームの入力プロセスを容易に利用でき、収集した情報の品質も向上します。また組込型ヘルプは、フィールドの事前定義や即時検証を行うことで、エンドユーザエクスペリエンスの向上とサポートコストを削減します。BP Director の重要なビジネスメリットは、その使い易さと素早い導入です。ユーザが精通したフォームと、電子メールを介した自動プロセスの進行により、トレーニングにかかる必要経費を削減します。さらに、コンテキストに応じたフォーム、組込型ヘルプ、フォームセグメントアイソレーションにより、BP Director の e フォーム・ソリューションの簡素化と受入れ、および展開をより容易にします。

e フォーム・ライフサイクル

BP Director では、e フォーム・ライフサイクル全体を管理します。e フォームのライフサイクルには6つの段階で構成されており、各ユーザがライフサイクルの各ステージに割当てられます。また、e フォーム・ビルダーとワークフロー・プロセスの利用は非常に容易で、かつプログラミングの必要なしに実行が可能であることから、開発者や IT 技術者でないビジネスユーザでもライフサイクル全体を連動させることが可能です。以下のセクションでは、BP Director における e フォーム・ライフサイクルの各段階について説明します。



作成



管理



展開



収集



プロセス



アーカイブ

作成

e フォーム・ライフサイクルの第1段階はeフォームの作成です。すでに知られているように、既存書類の多くはMS Wordファイル形式で作成されています。BP Director ではビジネスユーザおよびプログラマーでないユーザの利便性を確保するため、MS Wordフォームを利用したeフォーム・ビルダーを提供しています。この作成段階では、e フォームをただ作成するだけではありません。標準的なeフォームでは、e フォームで申請された情報が適切か判断するために一連のレビューや承認プロセスが実行されます。

管理

BP Director はeフォームを管理するための保存場所を提供します。フォームはサーバに集中的に保存され、権限ユーザはeフォームの照会や申請、編集が可能になります。完全なバージョンの履歴では、全てのeフォームをユーザが編集した時点で随時表示し、必要時には以前のバージョンのeフォームを復元することも可能です。このeフォーム管理により、安全かつ集中化されたデータの保存、リモートアクセス、フォルダベース構成、検索などをeフォーム・ビルダーにシームレスに統合することにより実現しています。

配布/展開

使用可能となった e フォームを適切なユーザにアクセスおよび入力させるには、作成した e フォームを配布する必要があります。BP Director では、e フォームの発行、および e フォームの内・外部での利用が可能です。統合ドキュメント管理機能では、最新でかつ承認済みバージョンの e フォームが利用でき、e フォームへのアクセス権限の管理により、ユーザが入力および申請可能なフォームのみを表示することが可能です。

取得/収集

通常のウェブブラウザを使用することで、ユーザは高価なクライアントソフトウェアや ActiveX、または Java アプレットなどのダウンロードの必要なく電子フォームにアクセスすることが可能です。全てのフォームはネットワーク経由でアクセスが行えるため、送信が容易であり、データ収集も迅速に行えます。BP Director では、ユーザが入力する必要のある部分のみ強調して表示し、その他の部分を表示させないフォームセグメントアイソレーションの機能を使用します。組込型ヘルプや事前自動定義、フィールド検証によりユーザの適切な情報の入力と同時にユーザエクスペリエンスのストリーミングを改善します。全てのフォームデータは業界基準の XML 形式で実際の e フォームとは別に保存され、内部プロセスや他のシステムと情報を共有します。

プロセス

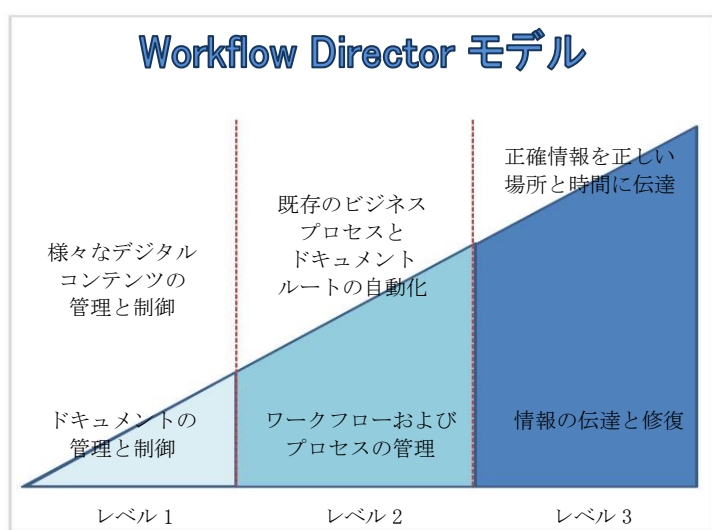
フォームはワークフロー・プロセスと連動して利用され、ユーザにより e フォームが入力されると同時にプロセスを開始します。入力済み e フォームはレビューや承認プロセスを経て、承認時にユーザへ通知、もしくは他のシステムと連動します。このプロセスは BP Director のワークフロー・エンジンで実現され、フォームを入力するにあたり独自のルールや送信の必須条件が設定できます。入力済みフォームが複数のユーザに送信されたとき、ユーザの権限によってフォーム上の閲覧可能データが管理されます。これにより、フォーム上で全ての情報にアクセスする必要のないユーザから機密データを守ることが可能です。

アーカイブ

フォームが入力された後、データやプロセス情報は復旧用にアーカイブされます。これにより、進捗の追跡やレポート報告、または関連する全てのイベントの監査が可能です。BP Director は、入力済みフォームまたは要求に応じたワークフロー・プロセスの作成するための情報を保存する格納場所を提供します。この情報はユーザ、フォームのデータ、またはワークフロー・プロセスごとに保存されています。電子署名は、レビューによる否認防止、承認または否決を保証するワークフロー・プロセス内の全てのユーザアクティビティで一貫して保持されています。

e フォーム・プロセスの背景にあるテクノロジー

BP Director は、e フォーム・ライフサイクル全体を管理する全ての要素を提供します。本製品は 3 層で構成されています。第 1 層では、安全な保存と完全なフォームデータと e フォームに編集、アクセスするために必要なコンテンツやドキュメント管理機能を提供します。第 2 層ではワークフロー必須条件やルートを指定するビジネス・プロセスの自動化を、第 3 層ではフォームやプロセス情報の送信や復旧機能を提供します。BP Director は、全ての層で独自で完全な e フォームの提供を実現するためシームレスに統合しています。



BP Director は、情報をより正確かつ迅速に収集・保存するため、柔軟なインフラストラクチャーを提供しています。本製品はより詳細なビジネスロジックプロセスを実現するため、JavaScript や VBScript と同時に他の業界基準である SOAP や XML、および ODBC をサポートしています。LDAP または Active Directory の統合サポートにより、BP Director でユーザマネージャに対する自動ルートリクエストのような詳細な機能を実現します。

e フォーム・ソリューションで期待すべきこと

e フォーム・ソリューションで求められる最初のステップとして、既存の環境を把握することが挙げられます。このステップでは、解決すべき課題、ソリューションを展開するために必要なタイムフレーム、そして問題解決に必要な技術を明確にします。ペーパーベースのプロセスやマニュアルプロセスは e フォーム・オートメーションを行うには最適であり、適切な e フォーム・ソリューションにより数ヶ月以内に ROI が期待できます。

BP Director は、開発の必要ない e フォーム・プロセスを迅速に展開し、TCO を抑えます。基本的な BP Director の機能と連結することにより、e フォームの機能でチームの共同作業やドキュメント管理をより効果的に行えます。

サマリー

どのような組織においても、オンラインフォームの利用とプロセス・オートメーションの採用はソフトウェアアプリケーションへの投資の中でも最大の利益が得られます。BP Director は、ペーパーベースフォームから自動 e フォーム・ソリューションへの迅速で容易、コスト効率の最も良い手段を提供します。

パソコンから PDA または従業員から顧客まで、e フォーム・プロセスは、従業員の生産性、連携、チームメンバー内の共有知識に対して、効果的な支援を行います。全社的または部門間のビジネスフォーム・プロセスに関わらず、BP Director は重要な既存のペーパーベース・プロセスを利用したワークフロー・オートメーションにより、オペレーションコストの削減と全てのフォームベース・プロセスで生産性を向上します。



著者 : BP Logix, Inc.

Buffy Schnurbusch

Senior Project Manager

United States

410 S. Melrose Drive Suite 100

Vista, CA 92081

<http://www.bplogix.com>

翻訳・監修 : アシストマイクロ株式会社 / BP Logix 日本総販売代理店

〒164-0012 東京都中野区本町 3-31-11

TEL : 03 (5302) 2983

<http://www.bplogix.jp>

お問い合わせ先 : bpl_info@assistmicro.co.jp